平成26年度第1回 独立行政法人森林総合研究所入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年2月20日(金) 森林総合研究所特別会議室	
委員	鬼沢 浩志(一般財団法人建築保全センター参事)、中川 文雄(元会計検査院第2局監理課長)、二井矢 句子(弁護士)	
審議対象期間	平成25年11月1日～平成26年12月31日	
対象案件	総件数:15件(抽出案件:4件)	
	工 事	業 務
一般競争入札	10(3)	5(1)
随意契約	-	-
(議事) ① 委員長の互選 ② 抽出事案に係る説明、審議 ③ 委員会による具申、勧告について	抽出案件・(抽出の理由) 発注工事一覧表及び発注業務一覧表の中から、以下の工事及び業務を抽出。 ・本所研究本館防水改修工事(建築一式工事、低入札価格調査実施) ・本所クリープ試験室増築工事(建築一式工事、一者応札、高落札率) ・本所A-4棟試料調整室インフラ整備工事(管工事、低入札価格調査実施) ・特定母樹種穂増殖温室新設工事設計業務(設計業務、応札多数、低落札率)	
議事概要	委員からの意見・質問	森林総合研究所の回答
①委員長の互選	委員の互選により、鬼沢委員が委員長に選出された。	
担当課より審議対象期間における「工事種別毎の入札参加状況」を説明。	入札審査委員会ではどのような審査が行われているのか。 参加資格の等級の適正については入札審査委員会で審査しているが、透明性の観点から明文化することも一つの方法ではないか。 一者応札については、辞退者に口頭でアンケートを行っているとのことだが、調査票として記録に残し次回に反映して頂きたい。	工期、該当等級の適正性や工事内容による品質確保を含め、工事自体の実行が可能かどうかを審査している。 検討したい。 そのように対処したい。
②抽出事案に係る説明、審議 (工事3件、業務1件)	【本所研究本館防水改修工事】 低入札価格調査の期間はどのくらいか。 低入札価格となった理由は何か。 【本所クリープ試験室増築工事】 再度公告の際、設計内容の見直し等の変更は行ったか。 工期との兼ね合いもあるが、再度公告でDランクまで広げたのであれば公告期間等を長くすることは考えられなかったのか。	特に期間を定めていないが、一週間以内を目安として可及的速やかに行うこととしている。 防水材の価格と共通費が安かったため。 資材価格と労務費の上昇に伴う単価の見直しと地盤調査の見直しを行った上で、工期も延長した。 ご指摘のとおり、工期に余裕を持たせて公告期間等を延長することもあり得る。今回の場合は、今年度中にクリープ試験を計画通り進める必要があったため、応札者の範囲を広げつつ、公告期間等の延長は行わなかった。

	<p>【本所 A-4 棟試料調整室インフラ整備工事】</p> <p>低入札価格調査の結果、工事を認められなかった事例はあるか。</p> <p>低入札価格の際には品質確保の観点から入念な確認をお願いします。</p> <p>【特定母樹種穂増殖温室新設工事設計業務】</p> <p>非常に低価格だが設計業務は適正に行われたのか。</p> <p>低入札価格調査に準じて価格調査してもよいのでは。成果品の品質確保は重要なポイントである。</p> <p>参加資格に契約解除の実績がないこととあるが、設計業務には全てこの文言が入るのか。また定めている理由は何か。</p> <p>【その他】</p> <p>特に不適切な点はない。</p>	<p>材料単価の誤りによる積算ミスがあった事例が1件あった。</p> <p>適正に行われた。</p> <p>工事ではなく設計業務であったため、特に必要とは考えなかった。</p> <p>すべて入れている。また、大学で契約不履行の実績があったことから定めているものである。</p>
<p>③委員会による 具申、勧告</p>	<p>なし</p>	